●広報 おぐに
2011 1
NO.675

過疎計画における地域づくりの取り組み

町では、平成二十二年度から平成二十八年度までを計画期間とした新たな過疎地域自立促進計画(過疎計画)を策定しました。今回は、この計画における重点事項のひとつである「新たな地域づくり」についてお知らせします。

新たな過疎地域自立促進計画を策定

昭和三十年代以降の高度経済成長に伴い、農山漁村地域から都市地域に若者を中心として大きな人口移動が起こりました。都市地域では、人口が集中し過密問題が発生する一方で、農山漁村地域では、地域社会の基礎的生活条件の確保にも支障をきたすような「過疎問題」が発生しました。この問題に対応するため、昭和四十五年に過疎地域対策緊急措置法が施行され、社会基盤の整備等をはじめとした総合的な過疎対策が講じられ、これにより、産業基盤や生活環境等について、着実な整備が図られてきました。しかし、急激な人口減少、少子高齢化の進行を主要因としたムラ機能の維持、保全が困難になる集落の増加などの課題に対して、地域住民のいのちと暮らしを守る実効性のある対策を総合的、計画的に講じていくこととし、平成二十二年四月に過疎地域自立促進特別措置法(過疎法)の期限が六年間延長されました。

この度の過疎法の一部改正では、従来のハード事業に加えて、地域医療の確保、住民の日常的な移動のための交通手段の確保、集落の維持及び活性化など、住民が将来にわたり安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図るための取り組みを積極的に展開できることとしています。

町では、第四次小国町総合計画基本構想で示した町の将

来像の実現に向けた施策の展開にあたって、過疎法に基づく財政の特別な措置を活用することとし、平成二十二年度から平成二十八年度までを計画期間とした、新たな「小国町過疎地域自立促進計画」を策定しました。

これまでの取り組み

町では、昭和四十五年に過疎地域の指定を受けて以来、四十年にわたり、その制度を活用し町づくりに取り組んできました。

現行過疎法に基づく平成十二年に策定した過疎地域自立促進計画においては、第三次小国町総合計画に基づき、多様な人々との協働の力によって、自然と人々が一緒に暮らすことを可能とする、美しく自立した生活空間の形成を図るという基本的な考え方にたち施策を進めることとし、横川ダム水源地域の整備、あけぼの団地の造成、小中高一貫教育の実践、高齢者専用住宅の整備、森林セラピー事業の推進、木質バイオマスエネルギー導入事業などを展開してきました。

これまでの継続的な取り組みによって、社会基盤の改善や地域資源に立脚した産業の拡大、発展など特性を生かしたまちづくりの展開が図られ、町民や民間との協働による地域づくり活動が活発に推進されるなど、豊かな町民生活の実現に向けて着実な成果を上げてきました。

森林セラピー事業の展開

社会環境の変化

二十一世紀に入り、国全体が本格的な人口減少社会に入り、少子高齢化の進行や、情報化の進展によるグローバル化、ライフスタイルの多様化など、社会・経済環境は大きく変化してきています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、我が国の総人口は今後長期の減少過程に入り、多くの自治体で人口規模が縮小するとされています。小国町においても、少子高齢化に加え、人口の減少が続いており、この傾向はさらに進行するものと予想されています。

農山村の機能・役割

農山村には、美しい景観や自然に触れ親しむ空間であると同時に、安全安心な食料や飲料水、エネルギーの供給、国土の保全、災害の防止、地球温暖化の防止など国民全体の安全・安心な生活を支える公益的機能があります。

本町には、先人達が自然と向き合った生活の中で育んできた生活文化、生活技術が、都市的な価値観とは対極の貴重な価値を有する「ぶな文化」として継承されています。このことは、新しい生活の場、癒しの場、そして環境教育、体験の場として農山村を求める動きとして、これまで整備してきた交流基盤を土台に、自然や人に触れ、伝統文化を体験しようと、県外や町外から訪れる人々の増加に表れています。

食や農、地域文化を体験できる農山村

一方、人口減少・少子高齢化の急激な進行は、本町に広範でかつ深刻な影響を及ぼし、集落においては、お祭りや盆踊り、共同作業等に支障をきたす懸念があるなど、コミュ

ニティー機能が低下しつつある状況にあります。

小国町には、広範に集落が散在しており、地域の自治機能や地域文化の継承は集落単位で維持、保全されている場合が多いことから、集落機能の低下は、まちづくり全般に大きな影響が生じてくることが予想されます。

新たな地域づくり基盤の再構築

本町における集落の整備については、昭和四十一年の「生活圏整備構想」以来、組織的に取組み、集落機能の維持、保全と安定した町民生活が確保されてきました。

今後のまちづくりにおいても、生活環境の整備や既存産業のさらなる振興、教育、保健、医療、福祉、介護サービスの充実などを通して、安定した町民生活の実現に向けて、継続的に事業を展開していくこととしています。

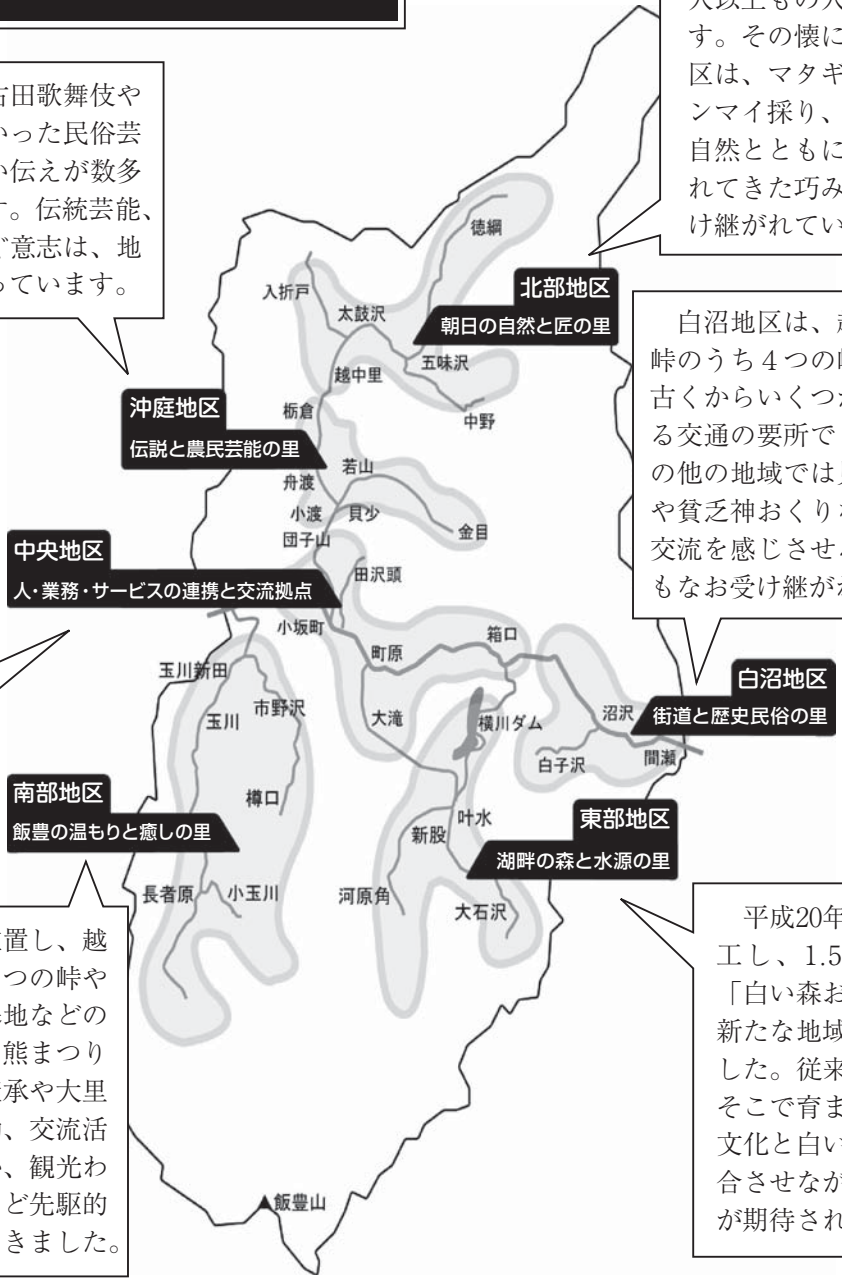
しかし、急激な人口減少、少子高齢化の進行は、まちづ

地域づくり基盤と地域づくりのテーマ

沖庭地区には、古田歌舞伎や舟渡の獅子踊りといった民俗芸能の他、伝説、言い伝えが数多く伝えられています。伝統芸能、伝統文化を受け継ぐ意志は、地域の大きな力となっています。

地区内のそれぞれの地域が個性的な歴史や伝統を有しているとともに、町内で人や仕事をはじめ、都市的機能が集中しています。小国町全町の、交流と連携の拠点として中心的な役割を担う地域となります。

飯豊連峰の裾野に位置し、越後米沢街道十三峠の３つの峠や温泉、森林セラピー基地などの地域資源があります。熊まつりなどのマタギ文化の継承や大里峠や萱野峠の保存活動、交流活動が行われているほか、観光わらび園やイワナ養殖など先駆的な取り組みが行われてきました。



朝日連峰には、毎年15,000人以上もの人々が訪れています。その懐に位置する北部地区は、マタギのクマ狩りやゼンマイ採り、木地づくりなど、自然とともに育まれ、伝えられてきた巧みな知恵と技が受け継がれています。

白沼地区は、越後米沢街道十三峠のうち４つの峠を有し、他にも古くからいくつかの街道が交差する交通の要所でした。また、町内の他の地域では見られない獅子舞や貧乏神おくりなど、いにしえの交流を感じさせる歴史や風俗が今もなお受け継がれています。

平成20年に横川ダムが竣工し、1.55㎢にも及ぶ湖「白い森おぐに湖」という新たな地域資源が生まれました。従来からある自然とそこで育まれてきた伝統や文化と白い森おぐに湖を融合させながら、新たな展開が期待されます。

くりの基盤である集落機能への影響が予想されます。

地域づくりには、将来に向けて集落機能を補完する新たな取り組みが必要であり、それぞれの地域の際立った特徴に着目したテーマを持つことにより、地域自らが特性と思いを組み合わせ、それぞれが望む「地域の姿」、「未来への希望」を紡ぐ物語を描くことが大切です。

このことから、これからの地域づくりに向けて、地域の自然、歴史、文化、機能をもとにテーマを定め、**白沼地区を「街道と歴史民俗の里」、東部地区を「湖畔の森と水源の里」、南部地区を「飯豊の温もりと癒しの里」、中央地区を「人、業務、サービスの連携と交流拠点」、沖庭地区を「伝説と農民芸能の里」、北部地区を「朝日の自然と匠の里」**の6つの地域づくり基盤を設定し、地域の実情に即した集落機能の維持、保全、生活の支え合いを推進していくこととしています。

朝日山麓でマタギ文化に触れる雪の学校

自立促進に向けて

本町では、昭和六十二年に策定した「新小国町総合計画」において、全国に先駆けて協働のまちづくりを展開してきました。

まちづくりの主役は住民であり、住民と民間と行政による協働の力が「まちづくりの源」であることに変わりはありません。これらを再認識したうえで、本町の人々の暮らし方、生活文化や生活技術、まちづくりの方向性に共鳴、同調し、応援してくれる町外の人々などが、地域づくり、まちづくりに参加、参画する仕組みを構築し、連携・協働していくことにより、地域資源や地域に対する価値観を再認識し、「自信」と「誇り」をもった、より魅力ある地域づくりにつながります。

南部地区を中心に、農作業の手伝いや集落巡回などを行っている「緑のふるさと協力隊」

このことから町では、様々な交流事業を展開しながら、この流れを前進させ、地域づくりやまちづくりに関わる町外の人々や、本町の地域づくり、町民の暮らし方に同調し、主体的に小国町を研究の対象としている高等教育機関などの人々を「協働人口」と位置付け、地域を支える人材として、ともに地域づくりを進めていくこととしています。

この取り組みとして、町の特性である生活文化や生活技術を評価、保存し、次代に継承していくための仕組みの構築を図るとともに、その魅力を発信させながら「協働人口」の増加を図っていくこととしています。

また、本年度、集落の維持保全のあり方を研究するとともに、地域の魅力と底力を改めて評価し、広く内外に情報を発信していくことなどを目的として「緑のふるさと協力隊」の受け入れを行っています。隊員の活動は、地域が持つ魅力の掘り起こしや集落の活性化に大きな役割を果たしています。こうした取り組みを通じて、集落の支援の在り方を模索しながら、地域資源や地域特性に基づく地域づくりへの取り組みを具体化する「地域づくり計画」の策定支援なども進めていくこととしています。

小国町議会

平成二十二年第七回町議会臨時会が十一月二十九日、第八回町議会定例会が十二月九日から十五日まで開会されました。主な内容は次のとおりです。

第七回臨時会

■給与条例等の改正

現下の社会経済情勢に鑑み、一般職給料表等の改定及び特別職の期末手当の改定などを行いました。

一般職については、中高年齢層の職員を対象に、給料月額を平均〇・一％引き下げるとともに、期末・勤勉手当の年間支給月数を〇・二カ月分引き下げ、三・九五カ月への改定を行うこととしました。

特別職並びに議会議員の期末手当については、年間支給月数を〇・一五カ月分引き下げ、二・九カ月に改定することとしました。

第八回定例会

■一般会計に五千三百八十万円を追加

今回の補正により、一般会計予算総額は、五十六億六千四百二十四万円となりました。主な内容は次のとおりです。

・本年度より実施している小中学生医療費無料化に伴う福祉医療給付費について、小中学生の医療機関受診件数が当初見込みを上回っていることから、所要額を追加しました。

・子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種について、所要額を追加しました。なお、これらのワクチン接種については、教育機関や医療機関と連携し、接種環境を整えながら実施していきます。

・このほか、例年を大幅に超えるクマの出没による有害鳥獣捕獲出動交付金の増額、消防施設や教育施設の修繕に係る経費などを追加しました。

■過疎地域自立促進計画を決定

過疎法に基づき、平成二十二年度から二十八年度までを計画期間とした「小国町過疎地域自立促進計画」を決定しました。

■国土利用計画を決定

国土をめぐる社会環境の変化を踏まえ、持続的な町土の均衡ある発展を、総合的、計画的に進める「第四次小国町国土利用計画」を決定しました。

■公の施設の指定管理者を選定

平成二十三年三月で指定管理期間が満了する十七の公の施設について、平成二十三年度以降も指定管理者制度による管理運営を行うこととし、新たに指定管理者を指定しました。

十七施設のうち、「健康の森横根」と「温水プール」の二施設については公募を行い、町選定委員会の審査結果を踏まえ、候補者の選定を行いました。「国民宿舎飯豊梅花皮荘」をはじめとする十五施設については、特定団体による候補者の選定を行いました。

■公の施設の指定管理者

（指定期間：平成23年４月１日～平成28年３月31日）

施設名称	団体名
健康の森横根	おぐに白い森㈱
温水プール	
国民宿舎飯豊梅花皮荘及び小国町マタギの里交流センター	おぐに白い森㈱
川入荘	
小国町飯豊山荘	
小国町白い森交流センター	
オートキャンプ場	
横根スキー場	
小国町総合スポーツ公園	
小国町天狗平ロッジ	特定非営利活動法人飯豊朝日を愛する会
おぐに地域産業館	地域産業館あいあい利用組合
小国町金目そばの館	金目そば伝承会
小国町マタギの郷交流館	小玉川地区自然教育圏整備促進協議会
小国町水源の郷交流館	東部地区振興協議会
片洞門休憩所	小国町観光協会
間瀬パーキングエリア休憩所	白い森パーキングエリア峠の茶屋管理運営組合
道の駅「白い森おぐに」	小国町商工会

新年を迎えて

小国町長　小野　精一

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申しあげます。

さて、地方自治体が置かれている状況は、人口減少や少子高齢化の急激な進行、低迷が続く経済情勢による雇用不安など依然として非常に厳しいものがあります。

こうした状況をふまえ、小国町では、景気雇用対策を重要課題に据えながら、少子高齢化社会に対応した施策等に積極的に取り組み、町民が安心して暮らせる環境づくりを進めてまいりました。

迎えた新年は、昨年とりまとめました小国町総合計画基本計画、過疎地域自立促進計画に基づく施策を着実に実行し、町の将来像である「人と自然が織りなすやさしい暮らしがあるまち“白い森の国おぐに”」の実現に取り組んでいきたいと考えております。

また、引き続き、景気雇用対策の推進、住民の暮らしを支える医療介護福祉の充実や子育て支援、教育の充実や産業の振興等に努めてまいります。さらに、町民の絆や地域の連帯と助け合いを大切に、町民各層の方々と「交流と連携と協働」を一層推進し、小国町の持つ豊かな自然環境や独特の生活文化を新しい視点で仕事や仕組みづくりに生かし、豊かさを実感できるような町づくりに果敢に取り組んでまいります。

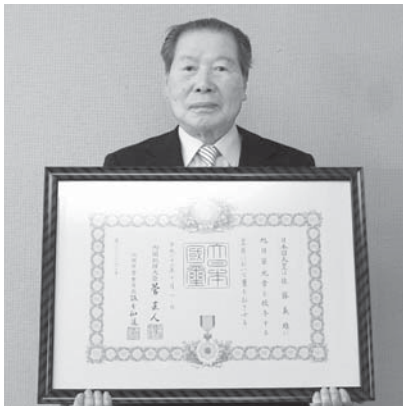
特に、本年は、将来の小国を担う子どもたちの教育の舞台となる新しい小国小学校の建設に着手するための実施設計に取り組みます。あわせて、小中高一貫教育を更に充実させ、子どもたちが輝く次代に向かって前進する町を目指してまいります。

今年の干支は辛卯（かのとう）であります。うさぎ年にあやかって、何事にも前向きに、しかも飛躍の年にしたいものと願っています。今後とも、町民の皆様の町づくりに対する一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげますとともに、皆様方にとりまして幸せ多い年となりますよう心からお祈り申しあげ、新春のあいさつといたします。

故 阿部弘一さん（栄町）旭日双光章を受章

元小国町議会議員の阿部弘一さん（栄町・平成二十二年八月十五日死去）に、旭日双光章が授与されました。昭和三十八年五月から通算二十五年七カ月の永きにわたり、町議会議員として地方自治の振興発展に尽力された功績が称えられたもので、町議会十二月定例会において、ご遺族の阿部靖浩さんに伝達されました。

佐藤義雄さん（緑町）旭日単光章を受章



元小国町議会議員の佐藤義雄さん（緑町）が、旭日単光章を受章されました。

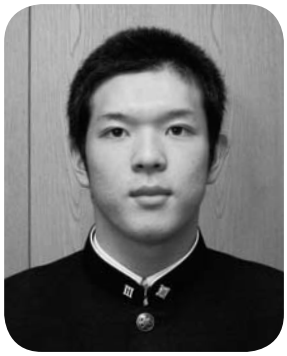
昭和四十六年四月から昭和五十八年四月まで三期十二年の永きにわたり町議会議員として、地方自治の振興発展に尽力された功績が称えられたものです。町議会十二月定例会において、伝達されました。

渡邊拓磨さん（樽口）
優良賞を受賞

小国町商工会青年部の渡邊拓磨さん（樽口）が、平成二十二年度商工会青年部主張発表全国大会において優良賞を受賞されました。

渡邊さんは、「内容を分かりやすく伝えられるよう心がけました。他の出場者との交流機会もあり、互いに地元を盛り上げていこうという気持ちを共感できました。今回の経験をこれからに生かしていきたいと思います」と話してくれました。

佐藤朋哉君（五味沢）
バレーボール全国大会へ出場



北部中学校三年の佐藤朋哉君（五味沢）が、十二月二十五日から二十八日まで大阪府で開催されたジュニアオリンピックカップ第二十四回全国都道府県対抗中学バレーボール大会に、山形県代表選手として出場しました。

佐藤君は、「先生方をはじめチームメイトや両親など、みなさんが支えてくれたおかげで、全国大会という大きな舞台で活躍することができました。高校でもバレーボールを続け、良い結果を出せるよう頑張りたい」と話してくれました。

金子哲雄氏が講演
～小国町文化講演会～

小国町文化講演会が、十一月二十八日、総合センターで開催され、「お金をかけずに地域を元気にする」と題して、金子哲雄氏が講演を行いました。

流通ジャーナリストとしてテレビ番組などに出演している金子氏は、自身の取材経験から、「商品やサービスは、集客商品と収益商品の二つの組み合わせで成り立っている。企業は、この比率が三対二の時に一番多くもうけが出ている。

日本は、平成十六年以降、豊かになり過ぎて、欲しいモノがない社会になっている。これからはいかにお金を使わせるかが重要になる。言葉や気持ちをスパイスにして、地域ならではの付加価値をＰＲすることが大切」と話しました。また、小国の雪を生かした取り組みとして、「中国は雪が少なく、雪を見たい人が多い。中国人観光客の呼び込みや、雪だるまを商品化して販売してみてはどうか」などの提言も行いました。

会場に訪れた約百人の参加者は、興味深そうに聴いていました。

新しい民生委員・児童委員が決まりました

平成二十二年十二月一日から平成二十五年十一月三十日までの三年間を任期とする民生委員・児童委員及び主任児童委員に、次のかたがたが決まりました。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受けて、担当地区内の住民の生活状態や福祉需要を把握し、援助を必要とする地域住民の相談に応じて適切な助言を行い、福祉サービスを利用するために必要な情報を提供します。さらに、福祉事務所などの関係行政機関と連携、協力しながら業務を遂行します。

主任児童委員は、児童福祉に関することを専門的に担当しています。

高齢者や児童、生活などの問題で悩んでいるかたは、担当地区の民生委員・児童委員にご相談ください。なお、詳しくは町健康福祉課までお問合せください。

■民生委員・児童委員名簿

氏　名	担当地区名
馬場　髙子	坂町１．２
鈴木　桂樹	坂町３．５、玉川口
長谷部　等	本町１．２．３
須貝　タミ	栄町１．２、小国町１
後藤　功	小国町２、駅前１．２
藤川　照子	緑町１．２
大友　昭男	地蔵町
羽田　みえ子	岩井沢１、平林
伊藤　満司	あけぼの
加藤　登志子	岩井沢２、上岩井沢
渡部　トミノ	兵庫舘１
小林　貞子	兵庫舘２
佐藤　勝榮	種沢、大滝、杉沢
後藤　美代子	松岡、黒沢
加藤　忠	東原、町原
志田藤　夫	伊佐領、綱木箱口
齋藤　悦子	北、旭町
岩沢　敏喜	田沢頭
渡邊　勝	増岡
渡部　幸雄	西、小芦、若竹寮
土屋　民男	幸町１．２
遠藤　美恵子	大宮、宮の台

氏　名	担当地区名
舟山　洋子	舘、小渡
佐藤　求	若山、古田、金目
大河原　一男	沼沢の一部、間瀬、白子沢
丹　健治	沼沢、明沢
渡部　甚作	玉川、玉川新田
小嶋　建男	市野沢、足野水
佐藤　良弘	足水中里、百子沢、樽口
本間　堅策	小玉川、長者原、泉岡
舟山　小三郎	片貝、玉川中里、中田山崎
今　秀子	舟渡
齋藤　百合子	尻無沢、今市
安部　新太郎	越中里、長沢
山口　和彦	六ヶ字
伊藤　一義	三ヶ字
齋藤　力男	五味沢、石滝
渡部　八江	上叶水、下叶水
武　義和	上大石沢、下大石沢
小野　廣昭	新股、河原角
藤田　明美	主任児童委員
遠藤　麻記子	主任児童委員
加藤　美恵子	主任児童委員

虐待を理解し防ごう

高齢者・障がい者虐待未然防止研修会が、十二月十一日、総合センターで開催され、約八十人が参加しました。

弁護士の池田徳博氏と、社会福祉士の齋藤美保氏が講演を行い、「虐待を早期に発見するには、民生委員・児童委員、自治会、社会福祉協議会などが連携した見守りのネットワークが大切」「虐待を疑う場面では、自分だけの判断でなく、社会福祉士や医療機関など専門知識を持ったチームで対応していくことが必要」であるなど、虐待の早期発見方法や対応について話していました。

12/6 食を通じた地域の健康づくり

～高血圧予防のための講習会～

高血圧予防レシピで調理実習

高血圧予防のための講習会が、12月６日、健康管理センターで開催されました。

食生活改善推進員による食事バランスの解説や、減塩メニューについての調理実習が実施されたほか、町立病院阿部病院長による「メタボリックシンドロームの予防について」と題した講話も行われました。

主催した小国町食生活改善推進員連絡協議会（髙橋輝子会長）は昭和56年に設立され、平成22年に30周年を迎えました。永年にわたり食を通じた地域の健康づくりの実践活動に取り組んでいます。

12/12 寒さなんか蹴っ飛ばせ！ ～地区対抗児童フットサル大会～

第17回地区対抗児童フットサル大会が、12月12日、町民体育館で行われ、町内の地区体育協会（全11地区）から16チーム、約150人の児童が参加しました。

子どもたちは、保護者の声援のもと、一生懸命ボールを追いかけ、白熱したプレーを見せていました。大会結果は、優勝が北東部Ａ、第２位が東部、第３位が小坂町Ａ・町岩東Ａとなりました。

また、大会を主催した町サッカー協会（安部鉄実会長）では、モンテディオ山形の育成普及コーチによる指導機会を設けるなど、より魅力ある大会づくりに取り組んでいます。

元気にボールを追いかける子どもたち

12/18 遊びを通して社会性を育む ～だがしや楽校～

枝を加工した作品づくり（木工クラフト）

白い森子ども体験教室Ⅳ「だがしや楽校」が、12月18日、総合センターで開催され、町内の小学生22人が参加しました。

当日は、小国町地域教育力･体験活動推進協議会（舟山功代表）のスタッフや、ボランティアサークルさくらの小国高生が協力し合い、７種類の体験コーナーを設置しました。

子どもたちは、班ごとに体験コーナーをまわり、お菓子づくりや木工クラフトなどの作品づくりを体験。スタッフや高校生に作り方や遊び方を教わりながら、思い思いの作品を仕上げていました。

12/19

地域に出向いてスポーツとふれあい活動

～スポーツクラブYui～

的を目がけてエイッ！

親子が協力し合いながらサンドイッチづくり

スポーツクラブYuiが主催する「親子ふれあい活動 クリスマスパーティ in たまがわ！」が、12月19日、旧玉川小中学校で開催され、幼児と保護者、地元南部スポ少の児童など25人が参加しました。

当日は、軽快なリズムに合わせた体操で体をほぐした後、ゴム製のリングを使い、輪投げ大会を行いました。的に入ると大きな歓声が上がり、会場は盛り上がりをみせていました。

また、スポーツ活動の後は、親子で協力し合いながらサンタクロースの形にしたサンドイッチを作り、料理を囲んでのクリスマスパーティーも行われました。

本年度、スポーツクラブYuiでは、定期的なスポーツ教室に加えて、地域に出向いて、幼児期の子どもと保護者を対象としたイベントを実施し、スポーツを通じた親子のふれあいの場の創出にも取り組んでいます。

この人に聞く

おぐにスポーツクラブYui

クラブマネージャー **藤田明美**さん（小玉川）

おぐにスポーツクラブYuiクラブマネージャーの藤田明美さんにお話しを伺いました。

Yuiでは、本年度、町中心部だけでなく、北部地区や沖庭地区、東部地区などを会場に、「親子ふれあい活動」を展開しています。

この活動では、県の幼児共育（ともいく）推進事業の委託を受け、幼児と保護者を対象に、親子が楽しくふれあいながら、ニュースポーツや自然観察を体験できる場を提供しています。また、地域のかたがたにもご協力をいただきながら、地域との交流も深められるよう事業を進めてきています。

今後は、この活動をひとつのきっかけとして、子どもからお年寄りまで、スポーツを通じた健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりを各地域で展開していきたいと考えています」と話してくれました。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

■**あけぼの団地**
３ＤＫ　２戸
■**小坂町団地**
３ＤＫ　１戸
▽**家賃**　所得と家族構成により決定します。
▽**対象**　所得制限がありますので、お問合せください。
■**小坂町勤労者住宅**
２Ｋ　２戸
▽**家賃**　三万三千円
■**岩井沢勤労者住宅**
３ＤＫ　３戸
▽**家賃**　四万二千円
▽**対象**　町内の事業所にお勤めのかた
■**敷　金**　家賃の３ヶ月分
■**募集期限**　１月12日㈬
■**入居時期**　１月下旬以降
■**問合・申込先**
地域整備課建設管理室へ

国有林モニター募集

国有林の管理・経営に皆さまの声を役立てていくため、モニターを募集しています。
■**募集人員**　数十名程度
■**募集期間**
１月４日㈫～31日㈪
■**任　期**　平成23年４月～平成24年３月
■**内　容**　アンケートへの回答、国有林モニター会議への出席など※詳しくはお問合せください。
■**問合・申込先**　東北森林管理局国有林モニター係（☎０１８―８３６―２２７４）へ

つや姫生産者追加募集

申し込みにあたっては、面積、栽培法、適地などの要件を満たすことが必要です。
■**申込期限**　１月14日㈮
■**問合・申込先**
産業振興課農林振興室へ

ご案内

一般事業主行動計画策定のための相談会

平成23年４月１日から次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定・届出が従業員百一人以上の事業主に義務付けとなります。早期の届出を進めるために個別相談会を開催します。
■**日　時**　１月17日㈪、１月24日㈪両日ともに午前10時～午後４時
■**場　所**　山形労働局相談室（山交ビル３階）
■**問合先**　山形労働局雇用均等室（☎０２３―６２４―８２２８）へ

西置賜地区の県立高校の再編整備計画に係る地域説明会

■**日　時**　２月２日㈭
午後７時～午後８時30分
■**場　所**　総合センター
■**内　容**　「西置賜地区の県立高校再編整備計画」の骨子説明と質疑応答
■**その他**
・詳細については、県ホームページをご覧ください。
■**問合先**　県教育庁高校教育課高校改革推進室（☎０２３―６３０―２４９２）へ

小国山岳会功績表彰記念講演会

■**日　時**　１月22日㈯
午後１時30分～午後４時
■**場　所**　総合センター
■**内　容**　元警視庁青梅警察署山岳救助副隊長 金 邦夫氏の講演※入場無料
■**問合先**　小国山岳会事務局 高橋弘之（☎62―３８８５）

催し

ラブラブイルミネーション

独身男女の出会いの場を提供します。ぜひご参加ください。
■**期　日**
２月11日㈮～12日㈯
■**会　場**　旧小玉川小中学校
■**内　容**　雪のイルミネーションづくり、懇親会など。防寒着を持参ください。
■**参加費**　男性 六千円
女性 四千円
■**問合・申込先**　おも白い森 代表 渡邊（☎62―４６０７）へ

むしろ織り体験講座

■**日　時**　１月24日㈪、25日㈫
午前10時～午後４時
■**場　所**　総合センター
■**内　容**　織り機を使用した「むしろ織り」の講習
■**申込期限**　１月17日㈪
■**参加費**　千円
■**問合・申込先**　教育委員会へ

今月の町長と語る日は１月21日㈮です。お気軽においでください。

皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール　shiroimori@town.oguni.yamagata.jp　町長室専用FAX　0238(62)2611

子育て支援センターから

“イクメン”のパパとジィジィ集まれ!!

☆**パパとジィジィと遊ぼう**☆

子どもたちはパパやジィジィと元気に遊ぶのが大好きです。お子さんと一緒に体を動かしながら楽しい時間を過ごしてみませんか。

■**日　時**　２月18日㈮
午前10時～午前11時30分

■**場　所**　健康管理センター

■**対象者**　１歳から３歳までのお子さんとお父さん・おじいちゃん

☆**こども愛ランド**☆

■**日　時**　２月19日㈯
午前９時30分～正午

■**場　所**　健康管理センター

■**内　容**　絵本の中のお菓子づくり、人形劇鑑賞

■**申込期限**　２月17日㈭

☆**あそびの広場・なかよし広場**☆

■**時　間**　**あそびの広場（毎週火曜日）**
午前10時～11時30分

■**場　所**　健康管理センター

■**時　間**　**なかよし広場（毎週木曜日）**
午前10時～11時30分

■**場　所**　第一・第三木曜日は総合センター、第二・四木曜日は、おぐに保育園

問合先　子育て支援センターへ

総合センター図書室から

●新着図書

◇十字架　重松　清
◇アリアドネの弾丸　海堂　尊
◇マネジメント　上・中・下　P・F・ドラッカー
◇瑠璃色の星　山崎直子
◇泣かない小沢一郎（あいつ）が憎らしい　世川行介
◇勝手にふるえてろ　綿谷りさ
◇悪の教典　上・下　貴志祐介
◇イザベラバード紀行　伊藤孝博
◇となりのツキノワグマ　宮崎　学
◇日本オリンピック委員会公式写真集2010年

●休館日…毎週月曜日、祝日

求人情報

左の表は、12月27日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎84－8609）へお問い合わせください。

事業所名	職種	求人数	勤務時間
ひさご電材㈱　小国工場	電気部品製造（電線製造、加工）	１人	8:30～17:30
アクサ生命保険㈱　長井営業所	商工会議所・商工会共済制度推進スタッフ（正社員）	３人	9:15～17:00
㈱コメリ　新潟地区本部	販売員（リージョナル社員、アルバイト）	３人	9:00～18:00 11:30～20:30 17:00～20:00
長谷川工業㈱	マシン・オペレーター	１人	8:30～17:00 16:30～1:00 0:30～9:00
置賜教育事務所	常勤講師（音楽）	１人	8:20～16:50
合資会社山佐　佐藤農機店	営業・販売・整備工	１人	8:30～17:30
遠藤建設㈱	土木施工管理技士	１人	8:00～17:00
㈱横川建設	重車輌オペレーター、土木施工管理技士	４人	8:00～17:00
医療法人社団緑愛会　満天の家	看護師・准看護師（一般・パート）	２人	8:30～17:30　他
㈱アイコンワールド　新潟営業所	（派）ＣＡＤ設計業務（山形県）	１人	8:30～17:15
㈱キュアドリーム	介護職員（急募）	２人	6:00～15:00 10:00～19:00 19:00～7:00
㈱ケイープロダクツ	自動車整備、ショッピングサイト管理	３人	9:00～18:00
㈱ナウエル	ホールアシスタント（ナウエル典礼第二エリア）	１人	8:30～19:00の間の３時間以上
㈱金十商店	事務全般、生鮮作業業務・レジ	４人	9:30～12:30 16:00～20:00
ＫＡＴＥＫＹＯ学院　長井校	完全個別指導　家庭教師	10人	17:00～21:00 18:00～22:00 19:00～21:00又は10:00～22:00の間の２時間

今月の納税　2011.1

１月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●**１月26日**㈬　水道料

●**１月31日**㈪　町県民税（４期）、国保税（７期）、後期高齢者保険料（７期）、介護保険料（10期）、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■**問合先**　税務課税政管理室へ

保健カレンダー

■問合先　健康福祉課へ

月　日	内　容	受付時間	対象のお子さん(生まれた月)	場　所
2月23日㈬	2歳児歯科健診	13:00～13:15	H20年6月、7月、8月生まれ	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
2月25日㈮	1歳児健診	13:00～13:10	H21年2月	
	4カ月児健診	13:10～13:20	H22年10月	

小国町指名競争入札 参加資格審査申請を受け付けます

小国町が行う建設工事、測量・建設コンサルタント、物品、役務の指名競争入札に参加を希望するかたは、次のとおり申請してください。

■**受付期間**　2月1日㈫～28日㈪
■**受付時間**　午前9時～正午、午後1時～午後4時
■**受付場所**　役場地域整備課建設管理室
■**有効期間**　平成23年度～24年度（町内業者のかたは平成23年度）
■**申請方法**　必要書類などの詳細については、電話または町のホームページでご確認ください。
■**問合先**　地域整備課建設管理室へ

高齢者をだまそうとする不審な電話や訪問者にご注意ください！

秋以降、市町村職員などといつわり、高齢者をねらった不審な電話や訪問者が全国的に数多く報告されています。

医療費の還付や保険証更新について、手数料を請求することはありません。不審な電話や訪問があった場合、絶対にお金を渡したり振り込んだりせずに、名前・電話番号を聞き、すぐに警察に連絡・相談するか、役場町民課国保医療担当または山形県後期高齢者医療広域連合（☎0237－84－7100）にお問合せください。

■**問合先**　町民課国保医療担当へ

相談

年金相談

■**日　時**　1月19日㈬　10：30～14：30
■**場　所**　役場町民相談室
■**対応者**　日本年金機構 米沢事務所職員
■**問合先**　町民課住民窓口担当へ

人権相談

■**日　時**　1月19日㈬　10：00～12：00
■**場　所**　総合センター
■**対応者**　町人権擁護委員
■**問合先**　町民課住民窓口担当へ

消費者相談

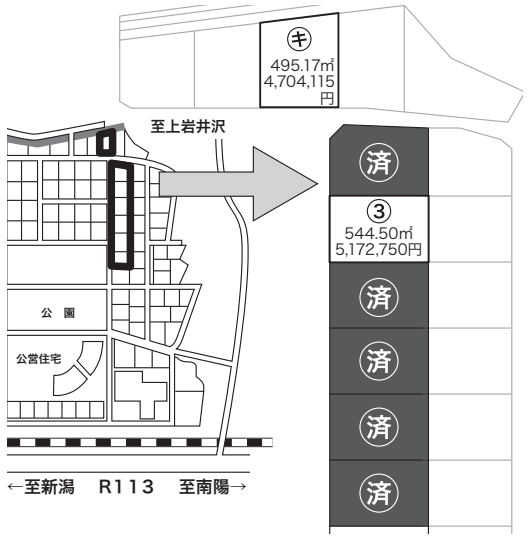
■**日　時**　1月29日㈯　10：00～15：00
■**場　所**　役場雇用相談室
■**内　容**　多重債務に関する相談など
■**対応者**　司法書士　舟山健蔵氏
■**申込み**　事前に申込が必要です。
■**申込・問合先**　町民課町民生活担当へ

横川ダム（白い森おぐに湖）湖上への立ち入り禁止について

横川ダム（白い森おぐに湖）の湖面にも積雪が見られますが、決して人が歩けるような状況ではありません。冬季の湖面への立入を禁止します。

■**問合先**　横川ダム管理支所（☎65－2363）へ

土地開発公社からのお知らせ



■あけぼの団地「新小国町誕生50周年記念特別分譲」について

特別分譲地は、残り２区画となりました。特別分譲は平成23年３月31日までの期間限定価格（１㎡あたり9,500円）です。

■問合先　小国町土地開発公社（役場総務企画課政策企画室内☎62−2264）へ

除雪の事故を防ぎましょう

除雪中の事故によって、毎年多くの犠牲者が出ています。除雪中の事故の危険性を理解し、安全な対策を講じましょう。

・作業は家庭、隣近所にも声かけて２人以上で！
・低い屋根でも油断は禁物！
・建物のまわりに雪を残して雪おろし！
・作業開始直後と疲れたころは特に慎重に！
・晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんでいる！
・忘れずに！命綱とヘルメット
・はしごの固定を忘れずに！
・除雪道具はこまめに手入れ、点検を！
・エンジンを切ってから！除雪機の雪詰まりの取り除き
・携帯電話の携行を忘れずに！

■問合先　町民課町民生活担当

山形県の特定（産業別）最低賃金

県内で次の事業を営む使用者に使用される労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される特定（産業別）最低賃金が改正されました。

	最低賃金額	
電気機械器具等製造業	１時間	723円
一般産業用機械等製造業	１時間	736円
自動車・同附属品製造業	１時間	738円
自　動　車　整　備　業	１時間	740円

※効力発生日：H22.12.25

なお、上記に該当しない労働者は、山形県最低賃金（１時間645円）が適用になります。

■問合先　山形労働局労働基準部賃金室（☎023−624−8224）へ

やまがた緑環境税を活用して、

地域の森づくり活動をしてみませんか

平成23年度みどり環境公募事業による県民参加の森づくり活動の募集を行います。

■支援する活動内容

平成23年度中に実施する取組み
①森林・自然環境学習
②自然環境の保全活動
③豊かな森づくり活動
④森林資源の利活用

■募集期間

１月11日㈫～２月21日㈪

～ 地域森づくり報告会 ～

■日　時　１月15日㈯
正午～午後３時

■場　所　長井市民文化会館

■内　容　西置賜管内の森づくり活動の報告、ポスターセッション等を行います。

応募方法、報告会の詳しい内容については、お問合せください。

■問合先　置賜総合支庁森林整備課森づくり推進室（☎0238−35−9053）へ

No.675
広報おぐに
2011-1-1
編集発行／小国町役場総務企画課　ホームページ http://www.town.oguni.yamagata.jp　携帯電話向けサイト http://www.town.oguniyamagata.jp/m/index.html
〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町二丁目70番地　TEL0238(62)2111(代)　FAX0238(62)5464　印刷／㈱青葉堂印刷

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

兵庫舘	佐藤	星衣奈（せいな）	（宇浩 郁）
小国町	岡島	希帆（きほ）	（博之子 淳）
小国町	岡島	咲弥（さや）	（博之子 淳）
岩井沢	小林	結希（ゆうき）	（昇子 純）
越中里	髙橋	愛音（あいね）	（隼人那 佳）
越中里	髙橋	仁奈（にいな）	（隼人那 佳）
小国町	矢部	陽斗（はると）	（拓也香 絵里）

結婚おめでとうございます。

宮の台	山口	祥孝
玉川	伊藤	智美
栄町	小関	一則
岩井沢	君成田	恵
南陽市	矢萩	智行
湯花	五十嵐	咲恵

おくやみ申し上げます。

杉沢	小嶋	ミトリ（95）
岩井沢	髙橋	やすよ（95）
舟渡	今	善一（70）
沼沢	前田	美子（75）
小国小坂町	東	馨（83）
小国小坂町	柏谷	春一（79）
栄町	小嶋	實（81）
岩井沢	増子	信吾（95）
岩井沢	山口	徳雄（89）
古田	安部	キヨノ（92）
田沢頭	伊藤	好男（99）
町原	齋藤	英雄（80）
尻無沢	横山	弘子（69）
幸町	木村	みさ子（58）

人口のうごき

人口	男	4,419人（－2）
	女	4,670人（－8）
	計	9,089人（－10）
世帯数		3,252世帯（＋3）

平成22年11月30日現在

伝えよう！広めよう！ おぐにの食文化

シリーズ⑨

材　料（5～6人分）

あずき……2合
もち米……1合
砂糖……150g
水……1合弱
塩……少々

作り方

① あずきはきれいに洗い、やわらかくなるまで煮る。
② もち米は、2時間程度、水に漬けておく。（古米は、4時間程度水に漬ける）
③ もち米を炊く。
④ ③が炊き上がったら、砂糖とあずき、塩を少々入れて、20分くらいおいてから混ぜる。
※好みにより、ごましおをかけても良い。

伝承者：伊藤はるみさん（幸町）

あずき煮干しは、季節を問わず、人の集まる機会に出されていた料理です。

以前は、小国中学校の総合学習の時間に、子どもたちに山菜やキノコなどを使った郷土料理を教えていました。

次代を担う若い人たちには、小国にはこんな料理があるということを知ってもらいたいですし、覚えた料理をまわりの人に伝えてもらいたいと思います。

編集後記

第11回山形ふるさとCM大賞で、小国町のCM作品が「アイデア賞」を受賞し、年間90回、YTSで放送されることになりました。

今回からCMの規格が30秒から15秒に変更となりました。短い時間のなかで、小国町の持つ森の豊かさを印象的にPRしようと、なぞかけ形式でストーリーを企画。町文化祭ほか様々なイベントで落語を披露している横山翼君をはじめ、子ども落語教室の皆さんに協力してもらいながら制作しました。ご協力ありがとうございました。

今年も、町内の明るい話題をたくさんお伝えできるよう心がけていきたいと思います。皆さんからの情報もお待ちしております。

（加藤）